

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		平和都市宣言関連事業の推進				整理番号	103		枝番号				
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201	連絡先電話番号	2286		昨年度整理番号	43			
係名					男女共同参画推進担当		上位施策名		No				
予算事業名					平和事業の推進		交流と平和の推進		68				
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		1 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区平和都市宣言						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)						
	区民						(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)								
平和のつどいや平和ポスター・コンクール、展示などの開催による平和都市宣言の趣旨の普及・啓発 非核宣言自治体協議会の加入・全国大会への参加による自治体間の連携 核実験国に対する抗議文の送付				(1) 平和のつどい参加者数									
				(2) 平和ポスター・コンクール応募者数									
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)									
区民一人ひとりが、戦争の悲惨さ、平和の尊さに対する認識を深めることにより、世界の恒久平和に寄与する。				(1) 平和のつどい参加者のうち初めて宣言を知った人 ÷ 全参加者数									
				(2) 平和のつどい参加者のうち戦後生まれの人 ÷ 全参加者数									
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値		目標値に対する14年度の達成率%
							計画		計画		17年度		
指標	活動指標(1)		人	437	175	500	350	500	500	500	70.0		
	活動指標(2)		人	254	381	400	409	400	400	400	102.3		
	成果指標(1)		%	41	44	45	37	50	50	50	73.2		
	成果指標(2)		%	31	68	50	35	60	60	60	58.5		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,707	2,060	1,870	1,788	5,491	特記事項				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.43 0.00	0.60 0.00	0.60 0.00	0.60 0.00	0.80 0.00					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,906	5,450	5,450	5,450					7,266
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0					0
	総事業費 + +		千円	5,613	7,510	7,320	7,238	12,757					
	単位あたりコスト ÷		円	12,844	42,914	14,640	20,680	25,514					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0					0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0					0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0					0
差引:一般財源 -		千円	5,613	7,510	7,320	7,238	12,757						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		宣言15周年を迎える中、東西冷戦構造の終結、米国同時多発テロ事件の発生、大量殺戮を繰り返した20世紀が終わった。近年は、テロによる「新しい戦争」の脅威が加わるとともに、有事法制の成立など、平和に対する関心は高まっている。また、戦争のかたちに見られる変化や、国際協調への対応など、平和に対する考え方が難しくなっている。										
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		アンケート調査では、平和事業は地道に末永く継続してほしいという意見が多い。好ましい事業として、映画会・講演会・写真展の順に挙げられている。また、青少年の「平和のつどい」への参加比率が低いことから、参加を促す意見が多い。										
	今後の予測		自衛隊の後方支援による海外派遣が行われ、平和のあり方を考えさせられる機会が増加する。また、戦争体験を直接聞いたことのない世代が増加することから、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えていく役割と責任はさらに社会化する。そのため、区が、平和事業を進めていく重要性は増大していく。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	70.0	活動指標(2)の14年度達成率%	102.3	14年度予算執行率%	95.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	映画配給会社との直接交渉、事務用品の圧縮などにより節減を図った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	平和ポスターコンクール募集要項を改定し、対象に区内の私立学校を加え、応募者を増加させた。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですが 貢献度 大(理由)	理由: 世界の恒久平和に対する区民の意識を直接高める事業を実施している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 区は、平和都市宣言を行っていることから、世界の恒久平和が実現される目途がたつまでは、区民に身近な区自身が果たす必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(^) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 人件費・活動量の増加	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 趣味や文化活動とは異なり、平和意識の啓発には受益者負担はなじまない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 平和ポスターコンクールは、昨年、対象を広げた。事業の対象は、全区民である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: それぞれ必要最小限の予算で事業を実施している。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 集客事業は、平和を考える上で大きな効果が得られる反面、テーマ的に集客には限界がある。そのため、これを続ける一方で事業を区民の生活の場に近づける。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 事業内容は、写真パネルの展示が効果的である。しかし、東京大空襲と原爆の二種類のパネルしかないので、巡回展示にも施設数と回数に限界が生じる。 アニメなども含め、平和パネルの調査、収集を行う。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	15年度は、宣言15周年事業を行ったことから予算の大幅増を行った。このため、16年度は、平常予算に減額する。 展示パネルの巡回展は、区民センター、学校などの公共施設と調整を行う。貸し出しパネルに、平和ポスターも含める。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女平等推進センター施設維持管理				整理番号	105		枝番号					
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204		連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	381			
係名				男女平等推進センター				上位施策名		No				
予算事業名				男女平等推進センター維持管理		コード	12650		男女共同参画社会に向けた環境整備		69			
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 男女平等推進センター条例							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 男女平等推進センターの建物及びセンターを利用する個人・団体		(2) 行政財産使用料条例							
							(3) 男女平等推進センター登録団体使用取扱要綱							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)									
センターの維持管理(建物の維持管理に係る部分については、併設の児童青少年センターに執行委任)及び集会室、印刷機・複写機使用料の徴収				(1) 延床505.59㎡										
				(2)										
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)										
快適かつ安全な施設環境に保全する。				(1) (代)年間修繕件数										
				(2)										
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%				
					計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)		㎡	505.59	505.59	505.59	505.59	505.59						
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		件	17	24	17	22	17						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,886	6,695	6,901	6,001	7,015	特記事項 成果指標(1)は、建物の維持管理を執行委任している併設の児童青少年センターが算出した数値					
	(内)委託費		千円	3,942	3,889	3,498	3,321	3,576						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,362	1,362	1,362	1,362				1,362		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0		
	総事業費 + +		千円	8,248	8,057	8,263	7,363	8,377						
	単位あたりコスト ÷		円	16,314	15,936	16,343	14,563	16,569						
	財源	受益者負担分		千円	83	76	119	68				119		
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	83	76	119	68				119		
差引:一般財源 -		千円	8,165	7,981	8,144	7,295	8,258							
受益者負担比率 ÷		%	1.0	0.9	1.4	0.9	1.4							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		「男は仕事、女は家庭」という考え方について(区男女共同参画に関する意識と実態調査より) 平成10年:肯定派 = 39.7% 否定派 = 59.7% 平成13年:肯定派 = 30.2% 否定派 = 65.2%											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		・最寄の駅から離れており不便である。 ・集会室の数が少ない。											
	今後の予測		維持管理経費については、経年劣化に伴い、通常の維持管理経費に加えて修繕費が増える。											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	87.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	14年度については、大きな修繕個所がなかったため、ひきつづき15年度に改修計画を進める予定である。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)		理由: 男女共同参画社会づくりにおいて、区民・団体の活動拠点となるセンターを適切に維持管理できた。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である		理由: 区立施設の維持管理を行うことは、区の責務である。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更		理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)		理由: 現在の集会室や印刷機・複写機の使用料は適切であると考え、ただし、施設の維持管理費が増加する場合は、使用料の値上げも考えられる。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)		理由: 男女共同参画社会づくりの観点から、現在の対象を縮小することは好ましくない。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(その他)		理由: 光熱水費等の削減により、ランニングコストを低減する。			
今後の事業のあり方		<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 施設管理費のうち、修繕費については経年劣化により年々増加していくと考えられる。今後は、安全性・快適性の向上を図る観点から、計画的に改修等を実施するための手法の検討を児童青少年センターとともに挙る。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 大規模な改修費の確保は現在の財政状況の中では困難である。しかし、児童青少年センターとともに改修を計画的に実施することによりコストを抑えることが可能である。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	修繕費について改修を計画的に実施することにより、支出の増加を抑えるよう努力する。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		企画運営委員会				整理番号	106		枝番号				
所属部課名		区民生活部文化交流課		コード	051204		連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	382		
係名				男女平等推進センター				上位施策名		No			
予算事業名				男女平等推進センター事業振興		コード	11950		男女共同参画社会に向けた環境整備		69		
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 男女平等推進センター条例 (2) 男女平等推進センター企画運営委員会設置要綱 (3) 男女平等をめざす杉並区行動計画						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
	男女平等推進センター企画運営委員会(学識経験者、各地域団体推薦、一般公募 計12名)												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)								
委員会を男女平等推進センターで年6回開催し、センター事業の企画や運営について提言する。(任期は2年)				(1) 委員会開催数 (2) 出席人数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)									
センター事業に対し、区民の意見を反映させる。				(1) 区民企画事業審査数 (2)									
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)	回	6	6	6	6	6						
	活動指標(2)	人	59	61	72	61	72						
	成果指標(1)	件	3	3	5	2	5						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	421	420	494	445	494	特記事項					
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0						
	職員数(正規 非常勤)	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,725	2,725	2,725	2,725				2,725		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				0		
	総事業費 + +	千円	3,146	3,145	3,219	3,170	3,219						
	単位あたりコスト ÷	円	524,333	524,167	536,500	528,333	536,500						
	財源	受益者負担分	千円										
		国・都等からの支出金	千円										
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0				0		
差引:一般財源 -		千円	3,146	3,145	3,219	3,170	3,219						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成9年5月に委員会が設置され、現在、4期目の委員を委嘱した。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	委員会の意見を極力センター事業に反映させるよう努める。											
	今後の予測	同規模で開催する予定。											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	84.7	14年度予算執行率%	90.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由:自治基本条例に定める区民参画・協働の一手法として、企画運営委員会の設置は大いに有効である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由:区立施設であるセンターの事業に対するチェック機能を果たすとともに、事業を区民参画で行うため区の責任において委員会を設置することは必要である。				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由:現在の委員数や開催数は適切である。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:対象は受益者ではない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:対象は適切であり、見直す余地はない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由:最低必要限のコストで運営しているため。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input checked="" type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	現在の委員数や開催数は適切であり、必要最低限のコストで運営しているため。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		パートタイマー報酬、図書・資料購入				整理番号	107		枝番号		
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	383	
係名				男女平等推進センター				上位施策名		No	
予算事業名				男女平等推進センター事業振興		コード	11950		男女共同参画社会に向けた環境整備		69
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 男女平等推進センター条例				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画				
	情報資料コーナーを利用する個人・団体						(3)				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)						
男女共同参画社会づくりに関する情報を収集・発信するため関連図書資料等を購入し、その貸出し・返却業務のためにパートタイマー2名を雇入れる。				(1) 情報資料コーナー利用人数							
				(2) パートタイマー雇入れ人数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)							
利用者の男女共同参画社会づくりに関する知識や意識を高める。				(1) (代)図書貸出冊数							
				(2) (代)利用者登録数							
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	人	4,785	3,477	3,500	2,843	3,500				
	活動指標(2)	人	2	2	2	2	2				
	成果指標(1)	冊	746	732	740	778	800				
	成果指標(2)	人	52	48	50	28	50				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,544	2,052	2,726	2,525	2,582	特記事項			
	(内)委託費	千円	100	51	106	106	106				
	職員数(正規 非常勤)	人	0.40	0.40	0.30	0.30	0.30				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,633	3,633	2,725	2,725	2,725			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	6,177	5,685	5,451	5,250	5,307				
	単位あたりコスト ÷	円	1,291	1,635	1,557	1,847	1,516				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	6,177	5,685	5,451	5,250	5,307				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	蔵書数 平成13年度:2,755冊 平成14年度:2,944冊									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	・区立図書館でも、センター図書の貸出し・返却ができるようにしてほしい。 ・男女共同参画に関する雑誌・新聞についても購入してほしい。									
	今後の予測	・地理的条件からも、図書貸出のみの利用者増は期待できない。 ・情報コーナーの規模上、蔵書は3,000冊が限界と思われる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	81.2	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	92.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	開館当初(平成9年)は注目度も高く自新しさもあり、それなりの利用があったが、交通の便が良くないこともあり、利用が減少傾向にある。また、前年度よりさらにセンター以外の比較的交通の便の良い区民センター等で講座を実施したので、その分の減もある。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	・今後のセンターの図書貸出業務については、区立図書館への連携を含め、検討中である。・センター蔵書の廃棄基準について15年度中には完成させ、蔵書の廃棄を行う予定である。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですが 貢献度 中(理由)	理由: 男女共同参画社会づくりへ向け、その意識を高めるため、情報の収集・提供は必要な事業である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 男女共同参画社会の実現のため、国、都、区、民間をあげて行う必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 図書・資料の貸出、閲覧を有料化することは適当でない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 男女共同参画社会の実現のためには、性別・年代を問わず幅広い層に理解してもらう必要があります。特に限定していない今の対象が適切である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: パートタイマーは午後からの勤務で、午前中は職員が当番制で対応している。年間の勤務日数も必要最低限としている。 図書資料の購入経費は必要最低限にしているため、これ以上削減できない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ・ホームページを活用を検討するなど、情報収集とともに情報発信の基地としてのセンター機能を充実する。 ・区立図書館との連携方法の検討。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・ホームページについては、全庁的に取り組んでいるので、区のIT化と歩調を合わせ推進する必要がある。 ・区立図書館との連携のためには、センターの図書コーナーのあり方について検討する必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女平等推進誌の発行				整理番号	108		枝番号		
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	384	
係名				男女平等推進センター				上位施策名		No	
予算事業名				男女平等推進センター事業振興		コード	11950		男女共同参画社会に向けた環境整備		69
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 男女平等推進センター条例				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 男女平等推進センター広報編集委員会設置要領				
							(3) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画				
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)							
男女平等推進誌「ゆうCan」を年4回発行する。公募区民による編集委員会により原稿を作成し、印刷は外注(年4回のうち1回は庁内印刷)。				(1) 発行部数							
				(2) 編集委員会の開催数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)							
男女共同参画社会づくりに関する情報を区民に提供することにより、意識を啓発する。				(1) (代)発行部数							
				(2)							
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		部	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000			
	活動指標(2)		回	32	35	32	38	32			
	成果指標(1)		部	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	960	936	1,078	853	1,078	特記事項		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,542	4,542	4,542	4,542	4,542			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	5,502	5,478	5,620	5,395	5,620			
	単位あたりコスト ÷		円	306	304	312	300	312			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	5,502	5,478	5,620	5,395	5,620				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		厚生労働省の出生動向基本調査によると女性の理想のライフコースは専業主婦という意見は後退 昭和63年 女性34% 男性38% 平成15年 女性19% 男性18% 対象:18歳から34歳の独身男女								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・ゆうCan「DV特集」をみて、相談室を利用した人がいた。 ・ゆうCanをみてセンターの存在を知った。 ・内容がとても充実した、との声が寄せられた。								
	今後の予測		公募区民の編集によるセンター広報誌はメンバーの広がりとともに、今後、次第に男女平等推進への効果をあげていくと考えられる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	118.8	14年度予算執行率%	79.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	内容充実を図るため、1回の発行に際しての編集委員会の回数が増えている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	託児を設けることにより、若い世代の編集委員応募があり、15年度は7名の公募による編集委員を集めることができ、若い方や外国人の編集委員もいて、タイムリーで国際的な紙面が期待できる。					

結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由: 区民向けの男女平等をテーマとした啓発誌は「ゆうCan」だけである。年々内容も充実し、区民からの声も好評である。
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 自治基本条例に掲げられている区民との協働を図る事業として必要である。
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 啓発を目的とした広報誌であるため、有料化は適切でない。
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 全区民を対象としているため。
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: レイアウトを含む印刷を年4回外注していたが、そのうち1回を庁内印刷に切り替えたため、印刷原稿まで編集委員(公募区民)が作成しなければならなくなり、これ以上の負担はかけられない。

今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ・多くの読者を得るために、ホームページによる男女平等推進誌の掲載を検討していく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・ホームページを開設するためには、安全性の確保等検証する必要がある。 ・区役所全体のIT化との調整も必要である。
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ・若い世代の編集委員を募集し、より新鮮な話題の紙面をつくるため、編集委員用託児の予算化が必要である。 ・ゆうCanの配付先を、区内企業、学校などに拡げていき、より多くの人の目に止まるようにする。

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		啓発・セミナー講座の開催				整理番号	109		枝番号					
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204		連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	385			
係名				男女平等推進センター				上位施策名		No				
予算事業名				男女平等推進センター事業振興		コード	11950		男女共同参画社会に向けた環境整備		69			
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 男女平等推進センター条例							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画							
	区内在住・在勤・在学者				(3)									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)									
企画立案 講師交渉 起案 広報紙・チラシ等でのPR 会場設営 実施 清算等 記録作成 企画運営委員会への報告				(1) 講座等参加人数						(2) 講座開催数				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)										
男女共同参画社会について考えるきっかけとするとともに、女性問題の解決に役立つ基礎的な知識のほか、コミュニケーション能力・問題解決能力の養成をめざした学習を行う。				(1) 講座参加満足度 = 評価(5点満点) / 回答人数						(2)				
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%				
					計画	実績			年度					
指標	活動指標(1)		人	405	217	220	218	220						
	活動指標(2)		回	23	16	24	20	24						
	成果指標(1)		点	4	4	5	4	5						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,557	1,042	1,558	1,297	1,557	特記事項					
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0						
	職員数(正規 非常勤)		人	2.81	2.81	1.63	0.50	1.63	0.50	1.63				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	25,523	25,523	14,805	14,805	14,805						
		非常勤職員分	千円	0	0	1,468	1,468	0						
	総事業費 + +		千円	27,080	26,565	17,831	17,570	16,362						
	単位あたりコスト ÷		円	66,864	122,419	81,050	80,596	74,373						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	27,080	26,565	17,831	17,570	16,362							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		・参加人数は横はいたが、全体的に若い世代の参加が多くなってきた。 ・すぐに役立つ、実利的な講座を好む傾向にある。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		・ロールプレイ、実演させていただいたおかげで、人生が変わりました。 ・大学の先生の話を聞くのは大変興味深かった。 ・コミュニケーションスキル講座について、もう1度開催してほしい。 ・テーマが重すぎた。											
	今後の予測		女性の生き方・価値観の多様化により、講座に対する要望も今後ますます多様化するものと思われる。											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	99.1	活動指標(2)の14年度達成率%	83.3	14年度予算執行率%	83.2
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	すぎなみ女性サミットの準備のため、年度の上半期は講座等が開催できなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	・男性セミナーなど、幅広いテーマで講座を開催した。 ・児童青少年センターと連携し、中高生対象のセミナーを持ったり、東京女子大学と共催事業を開催した。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由: 男女共同参画社会を実現するには、男女平等意識を育てる学びの場が必要である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 推進役としては、当面、区が行う必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 意識や価値観の変革が大きな課題であるため、受益者に負担させることは難しい。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 対象は適切であり、見直す余地はない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 必要最低限のコストで運営しているため。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ・参加者は、ほぼ横ばいである。今後も、開催時期や開催場所を工夫するとともに、より魅力のある講座を企画していく。 ・講座の周知方法について工夫し、区内企業や学校等へも今年度から働きかけていく。 ・中長期的には、インターネットなどIT機器の利用による周知・募集を実現していきたい。 ・専門分野をお持ちのセンター企画運営委員に、講師を依頼するなどできるだけ多くの区民参加の事業を実施していく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ホームページ等の作成については、区全体の計画との調整が必要である。また、職員の技術向上も必要とされる。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	特に経費の増減はない。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		人材養成・ネットワークづくり				整理番号	110		枝番号		
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	386	
係名		男女平等推進センター				上位施策名			No		
予算事業名		男女平等推進センター事業振興		コード	11950	男女共同参画社会に向けた環境整備			69		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 男女平等推進センター条例						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		男女平等の社会的風土づくりのために、啓発・セミナーの修了者に対するグループ作りに向けた支援 団体・グループのリーダー養成等のため、区民自らの企画を含めた講習会等を開催する。 団体・グループ間の交流促進のために、団体紹介冊子の作成、及びネットワーク化のための支援。 区の各種審議会等への女性委員登用にに向けた人材リストの発行。		(3)						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		地域活動に置ける男女共同参画社会の促進のためのリーダーとなってもらおう。		活動指標名(式)						
				成果指標名(式)							
				(1) センター利用団体・グループ数(センター登録団体 + 女性団体 + 区民企画事業実施団体)							
				(2)							
				(1) (代)区民参加で実施した事業数							
				(2)							
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	団体	136	119	120	119	120				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	回	8	8	12	14	12				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,363	1,077	1,397	1,124	1,226	特記事項			
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)	人	1.30	1.30	1.30	0.50	1.30			0.50	1.30
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	11,808	11,808	11,808	11,808			11,808	
		非常勤職員分	千円	0	0	1,468	1,468			0	
	総事業費 + +	千円	13,171	12,885	14,673	14,400	13,034				
	単位あたりコスト ÷	円	96,846	108,277	122,275	121,008	108,617				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	13,171	12,885	14,673	14,400	13,034				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	新たに活動をはじめめるグループも増えてきたが、高齢化などによる既存団体が減少し、全体としては減少傾向にある。センター講座受講者のグループ化支援により設立されて自主グループが区民企画事業に応募する等、力をつけてきている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	アフター7サロンの企画の工夫により、普段より若い人の参加も増え、好評である。他の自治体や海外友好都市の女性団体との交流助成。									
	今後の予測	センターの利用者を中心に自主グループが設立されているが、全体的には団体の減少は続くと思われる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	99.2	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	80.5
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	・高齢化などにより、活動が停滞気味のグループ・団体もある。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	・広報等を通じて、区民企画事業の公募をおこなったが、応募は少なかった。今後は、新たな周知先の開拓(民間企業・区内学校等)を行い、また、新しい広報手段としてホームページ等を検討中である。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですが 貢献度 中(理由)	理由:男女共同参画社会の実現には、人材養成及びネットワーク化は不可欠である。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由:男女共同参画社会の実現は、国・都・区・民間が協力して取り組んでいくものであり、区の役割として区内の民間団体を支援していく必要がある。			
	(3) 成果を向上させることができますか できる(^) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 対象の拡大	理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:地域のリーダーとなりうる人材を育成する事業であるため、受益者に負担させることは難しい。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由:対象を広げていくためには、現時の経費は必要最低限である。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 区民企画事業については、新たな周知先を開拓し、新しい周知手段を検討する。 地域の女性活動の情報を現在は冊子で提供しているが、将来は、ホームページ等の活用も検討する。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 インターネットによる情報発信については、情報開示についての各団体・グループの承諾が必要になる。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 特に経費の増減はない。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		女性のための相談				整理番号	111		枝番号			
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	387		
係名				男女平等推進センター				上位施策名	No			
予算事業名				男女平等推進センター事業振興		コード	11950		男女共同参画社会に向けた環境整備	69		
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 男女平等推進センター条例					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 男女共同参画社会を目指す杉並区行動計画					
	区民一般				(3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)							
センターにおいて無料で一般相談(火～土曜の10:00～16:00)、法律相談(毎木曜の13:30～16:30、月1回は夜間、いずれも予約制)、心の相談(毎水曜の13:30～16:30、予約制)を実施する。				(1) 年間開催日数(延べ)								
				(2)								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)								
悩み事が解決され、安心して生活をおくれるようにする。				(1) 相談件数 = 一般相談 + 法律相談 + こころの相談								
				(2)								
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	日	286	333	342	336	348					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	件	789	942	950	822	850					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	4,758	5,545	5,799	3,975	4,501	特記事項				
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0					
	職員数(正規 非常勤)	人	0.15	0.15	0.15	1.00	0.15			2.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,362	1,362	1,362	1,362			1,362		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	2,935			5,870		
	総事業費 + +	千円	6,120	6,907	7,161	8,272	11,733					
	単位あたりコスト ÷	円	21,399	20,742	20,939	24,619	33,716					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	6,120	6,907	7,161	8,272	11,733					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成13年5月から「心の相談」を開始した。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	女性のための相談があることによって、女性の立場からの相談にのってもらうことができ、助かっているとの声が多い。										
	今後の予測	社会状況の変化に伴い、より複雑で深刻な相談内容が増加すると予想される。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	98.2	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	68.5
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	東京都などで主催する相談員を対象とする研修に積極的に参加している。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由:心の相談、就職の相談等多様化する相談に対応し、区民に好評を得ている。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由:身近な区において相談できることが大切である。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:現時点では、相談の有料化は適当でないと考えるが、区における他の相談業務と歩調をそろえる必要はある。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:広く区民を対象とすべきであり、現在の対象は適切である。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由:必要最低限のコストで運営しており、相談日数を減らなどしてコストを下げることは適当でない。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) DVや家庭内暴力やこころの相談など多様化する区民の相談により適切に対応できるように、情報収集に努め、相談員の研修についても積極的に参加し、技術向上を図る。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 相談員の技術向上のためには、区内の研修にとどまらず、都や国の実施する研修も大いに活用していく。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	一般相談員2名分報酬は、相談員の職種が変更されたため、16年度は減になる。			

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		女性のための起業支援				整理番号	112		枝番号			
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	388		
係名				男女平等推進センター				上位施策名		No		
予算事業名				男女平等推進センター事業振興		コード	11950		男女が対等に働ける職場環境づくり		49	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 男女平等推進センター条例					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画					
	経済的に自立をめざす女性						(3)					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				・女性が経済的自立(就職・再就職)をするにあたり、情報提供(講演)、パソコン(エクセル)実技(初級・中級の2コース)の講習を行う。また、女性の起業を支援するため、企業セミナー(講演)、事業計画書づくりセミナー(講演)等を実施する。							活動指標名(式)	
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				女性の経済的自立を支援する学習と情報を提供することにより、自立への方法を学び、意識の向上を図る。							成果指標名(式)	
				(1) 就職・起業率(就職・起業人数/追跡調査有効回答数)								
				(2)								
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		人	20	73	130	78	110				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	7	33	30	33	30				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	541	1,583	1,631	1,501	1,630	特記事項 14年度の成果指標については、調査未実施のため、実績は13年度の実績を使用した。			
	(内)委託費		千円	500	563	563	1,226	563				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,542	4,542	4,542	4,542			4,542	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +		千円	5,083	6,125	6,173	6,043	6,172				
	単位あたりコスト ÷		円	254,150	83,904	47,485	77,474	56,109				
	財源	受益者負担分		千円		400	590	370				
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	400	590	370			0	
差引:一般財源 -		千円	5,083	5,725	5,583	5,673	6,172					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	6.5	9.6	6.1	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		女子学生対象の就職講座と再就職希望者向けの講座を平成11年度から一本化し、「就職・再就職セミナー」として、受講者が多く、その技能習得が就職に有利とされているパソコン講座をメインに実施。また、平成13年度から女性の起業を支援する「起業セミナー」「事業計画書作りセミナー」「経営診断セミナー」を実施。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・具体的でわかりやすく、興味深かったです。 ・あっという間に10回終了してしまいました。とっても楽しかったです。									
	今後の予測		不況下において、女性の経済的自立への支援は今後も希望者が多いと考えられる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	60.0	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	92.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	「起業セミナー」「事業計画づくりセミナー」「経営診断セミナー」は、平成13年度からはじめたが、2年目となり、参加者の人数は落ち着きはじめた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	・産業館を会場で使うことが多いが、同会場に託児スペースがなく、託児付の参加者は募集ができない。 ・14年度は、委託を試みたがあまり効果があがらなかった。今後、実施する場合は委託内容を検討する必要がある。					

結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 女性が経済的に自立し、社会に進出することにより、男女共同参画社会の実現につながる。
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 国では様々な女性のチャレンジ支援策がすすめられ、民間においても各種の起業関連のセミナーが開催されているが、区としては他機関と連携しながらより住民に身近な自治体として地域のニーズに合ったセミナーを開催し、起業以後の支援も含めて実施していく必要がある。男女共同参画社会基本法では国に準じる施策、区域の特性に応じた施策を策定し実施していく責務を有すると規定している。
	(3) 成果を向上させることができますか できる(^) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: すでに基準に基づき受講料を設定しているため、見直しの余地はない。
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 事業の目的から、現在の対象は適切である。
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 講師謝礼等必要最低限の予算で実施しているため、これ以上のコスト削減はできない。

今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
-----------	---

中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ・NPO等への委託は、今後条件を整備し行う必要がある。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・同内容の講座を実施している他の機関(区経済勤労課、杉並NPO・ボランティア活動推進センター等)との調整が必要である。

短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	特に増減はない。

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		調査・研究(女性史の発行)				整理番号	113		枝番号			
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	389		
係名				男女平等推進センター		上位施策名			No			
予算事業名				男女平等推進センター事業振興		男女共同参画社会に向けた環境整備			69			
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 男女平等推進センター条例					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)					
	杉並区女性史編さんの会						(3)					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				同会に対し、活動助成を行い、編さん会議の場としてセンター集会室を提供した。また、必要な資料等について入手しやすいよう援助した。		活動指標名(式)					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)				編さん活動が順調に進み、予定通り区制施行70周年・男女共同参画都市宣言5周年にあたる平成14年10月に女性史を発行した。		成果指標名(式)						
						(1) 編さん委員会開催数						
						(2)						
						(1) 女性史販売部数						
						(2)						
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	回	22	5	5							
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	部	-	500	222							
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,538	6,308	6,159	特記事項 13・14年度の臨時事業 平成14年10月に発行、窓口でも販売。					
	(内)委託費		千円	0	0	0						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.50	0.50						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	4,542	4,542				4,542	0	
		非常勤職員分	千円	0	0	0				0	0	
	総事業費 ++		千円	0	9,080	10,850				10,701	0	
	単位あたりコスト ÷		円	412,727	2,170,000	2,140,200						
	財源	受益者負担分		千円		750				414		
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0				750	414	0
差引:一般財源 -		千円	0	9,080	10,100	10,287	0					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	6.9	3.9						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区制70周年記念、全国男女共同参画都市サミット開催に合わせ、「杉並の女性史編さんの会」により平成14年10月に「女性史」を発行した。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		「読んでみて、語り継ぐことの大切さを実感した。」「杉並が原水禁運動の発祥の地であることの意味が良く分かった。」 「過去があって現在がある、次世代に語りついでいく世代の役割があると思った。」 など好評を得ており、出版社でも増刷で対応している。									
	今後の予測		杉並の女性たちの活動を記録した貴重な資料でもあり、今後の事業の中でも活用していく予定である。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	97.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)		理由: 杉並に暮らし、活動した女性たちの足跡を記録し、広く区民にひろめる女性史の発行は、男女共同参画社会づくりの一助となる。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか		理由:			
	(3) 成果を向上させることができますか 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ		理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか		理由:			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか		理由:			
	(6) コストを下げる余地はありますか		理由:			
今後の事業のあり方		<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 14年度で終了した事業である。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 14年度で終了した事業である。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画推進のための啓発・調査研究				整理番号	114		枝番号			
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201	連絡先電話番号	2286		昨年度整理番号	392,393		
係名					男女共同参画推進担当			上位施策名		No		
予算事業名					男女共同参画の推進			コード		69		
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		3 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 男女共同参画社会基本法					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱					
	区民 職員 各主管課						(3) 杉並区男女共同参画推進会議設置要綱					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				資料集や啓発誌、推進誌等を作成し、区民、団体、職員等に配布。 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査（前年度の事業の推進状況を各課ごとに調査する）		活動指標名（式）					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				男女平等・男女共同参画についての理解を深める。 各施設の事業実績及び評価を区民に開示し、推進状況について情報を提供をする。		成果指標名（式）						
						(1) 啓発誌作成部数 ÷ 推進誌作成部数						
						(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進調査対象事業数						
						(1) 啓発誌配布数 ÷ 啓発誌作成部数						
						(2) 有効とされた事業 / 対象事業数						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		16年度				
指標	活動指標(1)		部	3,100	3,300	5,300	3,200	5,300	5,300	60.4		
	活動指標(2)		事業	465	447	450	450	450	450	100.0		
	成果指標(1)		%	88	95	94	96	97				
	成果指標(2)		%	92	85	90	88	90	90	97.8		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	951	3,108	1,361	1,260	953	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.80	1.30	1.30	0.52	1.30				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,266	11,808	11,808	4,723			11,808	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +		千円	8,217	14,916	13,169	5,983	12,761				
	単位あたりコスト ÷		円	3	5	2	2	2				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	8,217	14,916	13,169	5,983	12,761					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		男女共同参画社会基本法や男女共同参画基本計画が制定されるなど、男女共同参画社会の実現は21世紀におけるわが国の最重要課題のひとつと位置づけられている。また、少子・高齢化が進むなか、仕事と育児・介護の両立ができるよう育児・介護休業法の改正も行われた。DV防止法も施行され、「女性に対する暴力」の問題もクローズアップされている。									
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		男女共同参画宣言都市にふさわしい行政のあり方が求められている。									
	今後の予測		少子・高齢化、経済の不況による就労形態の変化等により男女を取り巻く社会環境の変化のスピードは、ますます加速することが予想される。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	60.4	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	92.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	ホームページについては、調査研究中 新行動計画については、区民懇談会及び自治基本条例にあるパブリックコメントを利用しできるだけ民意を反映させる。					

結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：杉並区の状況を調査研究し、それを基に区民及び職員等に、男女平等への意識啓発や情報提供をすることにより、男女共同参画社会の実現を図ることができる。
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：公正な立場から調査研究し、それを基に情報を提供及び問題を提起し、意識啓発をしていくことが大切である。
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由：
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：意識を啓発するための情報提供であり、事業の性格上受益者負担は適当でない。
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：対象は適切であり、変更は必要ない
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：現在も必要最低限の経費で行っている。

今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input checked="" type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
-----------	---

中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 男女共同参画についての意識と実態の違いを調査し、男女共同参画推進担当と男女平等センターの連携を深め、男女共同参画推進の意識と実態の違いを最小にするような啓発事業をすすめる。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民及び職員に対する啓発の方法を研究する。

短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平成16年度には、実施計画の啓発情報誌の発行がある。また、平成17年度のローリングに向け、男女共同参画に関する調査を行いたいと考えている。

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画の推進				整理番号	116		枝番号			
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	51201	連絡先電話番号	2286		昨年度整理番号	394		
係名		男女共同参画推進担当				上位施策名			No			
予算事業名		男女共同参画の推進		コード	11900	男女共同参画社会に向けた環境整備			69			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		10年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 男女共同参画社会基本法 (2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱 (3) 杉並区男女共同参画推進会議設置要綱							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		男女共同参画推進区民懇談会：公募区民、団体代表、関係機関、学識経験者 男女共同参画推進会議：助役を長とする、区役所組織、庁内の男女共同参画推進や施策の総合調整等を図っている。 男女共同参画都市宣言記念事業：区民、地域団体							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		男女共同参画推進区民懇談会：杉並区における男女共同参画関係施策の総合的・計画的推進を図るため、委員及び幹事で懇談、意見集約を図る。 男女共同参画都市宣言記念事業：例年12月の宣言時期にあわせてパネル展示を行うほか、通年で各種事業を行う				活動指標名(式) (1) 男女共同参画推進区民懇談会等の開催回数 (2) 都市宣言記念事業参加者数					
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		男女共同参画の推進を図るため、男女平等・共同参画に関する施策について懇談、意見集約を図り、男女共同参画行政に反映させる。 都市宣言記念事業の実施により、宣言の周知を図る。				成果指標名(式) (1) 審議会等への女性の参画率 (2) 杉並区が男女共同参画宣言都市であると認識を持っている人の割合					
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
					計画	実績		20年度				
指標	活動指標(1)		回	5	6	8	8	10	9	88.9		
	活動指標(2)		人	280	320	2,000	5,081	300	400	1270.3		
	成果指標(1)		%	37	30	30	33	30	40	81.5		
	成果指標(2)		%		13				20	0.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	419	1,030	1,289	1,195	2,846	特記事項 15年度は男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画改定の年であり、新行動計画を印刷する。			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.80	0.60	0.60	0.40	0.90				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,266	5,450	5,450	3,633	8,175				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	7,685	6,480	6,739	4,828	11,021				
	単位あたりコスト ÷		円	1,537	1,080	842	604	1,102				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引：一般財源 -		千円	7,685	6,480	6,739	4,828	11,021					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年12月1日に杉並区は男女共同参画都市宣言を行った。区の刊行物等に宣言文を掲載したり、催しの際に宣言文を掲示したりして普及・啓発に努力している。14年10月には、内閣府と共催で全国男女共同参画宣言都市サミットを開催した。14年度中には当初3市だった宣言都市も59市町村に増加した。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)											
	今後の予測		男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画の改定を15年中に行う。男女共同参画推進区民懇談会での討議及びパブリック・コメントを取る際に意見が出てくると考えられる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	254.1	14年度予算執行率%	92.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画の改定を15年中に行う関係で、改定のための討議を行ったため男女共同参画推進区民懇談会の開催回数が前年より増加した。					

結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 男女共同参画についての様々な課題を、杉並区男女共同参画推進区民懇談会委員とともに認識し、意見を集約して問題解決に向け協働できる。また、記念事業の開催により、男女共同参画宣言都市であることを区民に啓発できる。
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 国や東京都と連携を取りながら男女共同参画を推進していくが、区は区の職務権能に従って、住民に一番身近な自治体として男女共同参画、宣言都市について区民に意識啓発を行っていく必要がある。
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 対象の拡大	理由:
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 受益者負担はない。
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 男女共同参画推進区民懇談会については、必要最小限の構成員で懇談、意見集約を行っている。また、記念事業については、広範な区民を対象とすべきもので、対象を縮小しては成果は維持できない。
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 男女共同参画推進区民懇談会の報酬について、自治基本条例の適用によりコストの削減が図れる。

今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合	
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 啓発事業等でのより広範な区民の参加をめざす。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 男女共同参画に関する様々な課題の解決は、社会経済状況の変化等に左右され、なかなか一朝一夕には困難である。毎年の地道な啓発事業、様々な機会を捉えたPR等を通じ、区民に男女共同参画についての理解を求めていく。	
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画の改定が済むので、男女共同参画推進区民懇談会の開催回数を減じる。

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画宣言都市サミット				整理番号	117		枝番号		
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	51201	連絡先電話番号	2286		昨年度整理番号		
係名				男女共同参画推進担当				上位施策名	No		
予算事業名				男女共同参画宣言都市サミット		コード	11905		男女共同参画社会に向けた環境整備		
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		14 年度		根拠法令等		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 男女共同参画社会基本法 (2) 杉並区男女共同参画都市宣言 (3)		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				内閣府、男女共同参画推進本部との共催で、全国男女共同参画宣言都市サミットを杉並公会堂で開催する。同時期に、区制施行70周年及び男女共同参画都市宣言5周年を記念した「記念事業」をセシオン杉並で4日間にわたり開催する。				活動指標名(式)		
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				男女共同参画社会の実現に向け、全国男女共同参画宣言都市サミット開催により、国、各宣言自治体との連携・交流を推進し、全国レベルでの男女共同参画意識の向上を図る。また、記念事業の開催により、広範な区民、事業者、NPO等との協働を通じ、男女共同参画の一層の推進を図る。				成果指標名(式)		
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績	年度				
指標	活動指標(1)		%			98	95		94.5		
	活動指標(2)		%			98	91		91.0		
	成果指標(1)		団体			50	78				
	成果指標(2)		人			4,000	5,081				
総事業費・コスト把握	事業費		千円			18,392	12,237	特記事項 平成14年度の単年度事業である。			
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人			1.50	1.50				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	13,625			13,625	0
		非常勤職員分		千円	0	0	0			0	0
	総事業費 + +		千円	0	0	32,017	25,862			0	
	単位あたりコスト ÷		円			327	274				
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0			0	0
差引:一般財源 -		千円	0	0	32,017	25,862	0				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成6年度3市が男女共同参画都市宣言を行ってから、13年度までに全国で45自治体が宣言を行った。国と宣言都市が共催で、全国男女共同参画宣言都市サミットを平成8年度から開催し、宣言都市の男女共同参画の状況等の情報交換・交流を通じ、全国に男女共同参画意識の向上を図ってきた。サミットへの参加自治体も増加し、14年度からは年に2都市で開催されるようになった。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		男女共同参画という言葉はわかりにくいので、もっと一般区民に理解できるような親しみのある名称にして、広く参加を促すような事業を企画できないか。国との共催の部分に区としての独自性を出せないか。などの意見がサミット実行委員会であった。								
	今後の予測										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	96.4	活動指標(2)の14年度達成率%	92.9	14年度予算執行率%	66.5
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	国との共催部分については、分担して負担した。サミット実行委員会との共催部分については、実行委員会で経費の使途等についてよく確認し、必要最低限の経費で目的を実行するようお互いに努力した。また、使用施設の変更の場合の経費を予備に取っておいたが、杉並公会堂が使用できたため施設の賃借料が節減できた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	理由: 参加した全国の自治体・住民等からは区の男女共同参画への取り組み等について高い評価をいただいた。また、杉並区についての認識も高まった。記念事業については、協働で事業を行ったグループが、従来の女性団体の枠組みを超えた団体が多数あったので、男女共同参画について理解が進んだ。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか ▼	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ ▼	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ▼	理由:				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか ▼	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ▼	理由:				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 単年度事業である。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	単年度事業である。				